

圭はトイレからもどつてくるとテーブルの椅子を引き、「食べていいんですか?」ときいた。
「いいに決まってるよ。この家の中では、圭のしたいことをしていいんだって」
圭は、うん、と小さくうなずき、それから D ボテトチップに手をのばした。

岩瀬成子『地図を広げて』(一部、改変があります。)

問一

A D に最も適する語を次の中からそれぞれ選び、記号で答えなさい。

ア こっそり イ ぎこちなく ウ ぜんぜん エ しばらく

問二

部①「こういうとき」とはどのようなときですか。最も適するものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア 友だちの家に遊びに行く約束をするとき。

イ 圭がどこにいるか確かめたいとき。

ウ 父には知られずに圭と話がしたいとき。

エ 家のインターフォンの調子がよくないとき。

問三

部②「お父さんはそう言うとき、わたしの顔をではなく、頭の少し上あたりを見て言った」とありますが、ここでの父の気持ちを説明したものとして最も適するものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア 娘を心配させているのにも関わらず、家庭の事情の全てを説明できないことを心苦しく思っている。

イ 離婚したことで娘を傷つけてしまい、娘が心を閉ざしてしまったことに対して心を痛めている。

ウ 妻が自分の息子を連れ去ったことに怒りを覚えているが、娘には心配をかけたくないと思っている。

エ かつて同じだったはずの自分と妻の考え方は、どこで変わってしまったのだろうと後悔している。

問四

I に最も適する文を次の中から選び、記号で答えなさい。

ア 圭の体調が心配だ。

イ 返事をしないなんて、薄情だ。

ウ きっと何かあったのだ。

エ 圭をびっくりさせてはいけない。

問五

部③「わたしと圭のあいだには、いろんなものがはさまっているような気がした」とありますが、ここでのわたしの気持ちを説明したものとして最も適するものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア ふすまの向こうに閉じこもっている圭の態度を腹立たしく思っている。

イ なぜ圭が道に迷っただけで泣いているのか、不思議に思っている。

ウ 母と長年暮らした圭とは生活習慣が異なることにまどっている。

エ 圭の様子が気になるのに、どのように声をかけるべきか悩んでいる。

問六

Ⅱ

に最も適する語を次の中から選び、記号で答えなさい。

ア 胸のつかえが下りそう

イ 胸がおどろそう

ウ 胸が痛くなりそう

エ 胸を打たれそう

問七

部④『圭。おいでよ。アイス、食べようよ。ポテトチップもあるよ』と言いながらキッチンに行った」とありますが、このようにわたしが圭に声をかけた理由を、解答らんに続くよう、三十字以内でわかりやすく説明しなさい。

問八

部⑤『食べていいんですか?』という圭のことばについて、なぜ姉に敬語を用いているのですか。理由を説明しなさい。

二 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

五月上旬に、市場に出まわる新茶は、二月上旬の立春から数えて八十八夜に摘まれるお茶の葉で、これは「一番茶」「走り茶」と言われます。そしてこのお茶は、一年間のⅠ 息災を願って、私たち人間に、ありがたく飲まれます。

同じ木でも、新茶のあとに摘まれるお茶の葉が、二番茶、三番茶とよばれるもので、よく「新茶は甘く旨みがあり、二番茶、三番茶は渋みや苦みがある」と表現されます。しかし、これは「新茶の方がいい」とか、「二番茶、三番茶の方がいい」などという、お茶の価値の優劣を言うものではありません。

新茶が甘く、旨みがあるその理由は、新茶には、お茶の木が冬の寒さに耐えたあとに出てきた葉っぱが使われるからです。冬の寒さに耐えるために、お茶の木は、葉っぱに糖分やビタミン、アミノ酸などを増やします。これらを増やせば、葉っぱが凍りにくくなるからです。

①これは、お茶の木に限った現象ではありません。植物が冬の寒さに耐えて生きるためには、葉っぱが凍ってはいけません。そのため植物は、冬に向かって、葉っぱや根の中に、凍らないための物質を増やします。それらが糖分やビタミン、アミノ酸などです。

なぜ冬の寒さに耐える葉っぱが凍りにくいのかは、これらの物質を溶かした水と、溶かしていない水を比較すればわかります。

たとえば、甘みをもたらし糖分の代表である砂糖を溶かしていない水と、砂糖を溶かした砂糖水とで、どちらが凍りにくいかを考えれば、砂糖水の方が、凍りにくくなります。またこれは、溶けている砂糖の量が多くなれば多くなるほど、ますます凍りにくくなります。

水が凍って固体の水に変わるとは「凝固する」と表現され、これが生じる温度を「凝固点」といいます。ふつうの水の場合、凝固点は零度です。ところが、水に糖分やビタミン、アミノ酸などの物質が溶けると、凝固点は低くなります。これが「凝固点降下」とよばれる現象です。

つまり葉っぱや根に含まれる水の中に、多くの糖分などが溶け込めば溶け込むほど、その水分が凍る温度は低くなり、葉っぱや根は凍りにくくなるわけです。冬の寒さを越えた野菜、たとえば、ダイコンやハクサイ、キャベツなどが、「甘い」とか「旨みがある」と言われるのは、このためです。

新茶には、冬の寒さを乗り越えるために、こうした成分が多く含まれています。特に、お茶の甘み、旨みの成分であると言われるテアニンが多く含まれているのです。そのため、新茶は甘く、旨みがあるのです。

それに対し、二番茶や三番茶が摘み取られる時期は、五月下旬以降です。その時期は、太陽の光が強くなっているので、お茶の木は、紫外線に負けないように抗酸化物質であるカテキンやタンニンという物質の量を増やします。

カテキンは、カキやクリの渋みの成分であるタンニンの一種なので、渋みを出す成分で、タンニンも緑茶の苦みを出すとされる成分です。そのため、「二番茶、

三番茶は渋みや苦みがある」と言われるのです。この渋みや苦みは、虫に食べられることや紫外線から、からだを守るためのものです。

お茶の木は、寒さの中では、葉っぱの甘みを増すことで凍らないようからだを守る一方で、強くなる紫外線や、虫の活動が活発になる時期は、カテキンやタンニンの量を増やして自らを変化させ、^{りんきおうへん}臨機応変に、^{じようきようしだい}したたかに生きています。

生き方は、決して一つである必要はありません。植物たちは、状況次第で自分を変え、強くかしく生き抜いているのです。

田中 修『植物のかしこい生き方』より（一部、改変があります。）

問一 I に適する言葉を、漢字二字で答えなさい。

問二 部①「これ」の指し示す内容を、本文中の語句を用いて説明しなさい。

問三 部②「凝固点降下」とよばれる現象」とありますが、この現象によってダイコンやハクサイ、キャベツはどうなりますか。説明しなさい。

問四 部③「抗酸化物質であるカテキンやタンニン」という物質の量を増やします」とありますが、それは何から身を守るためのものですか。文中から二つ、抜き出さなさい。

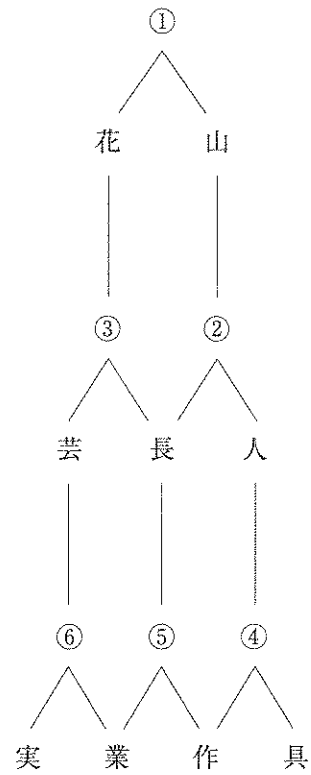
問五 ～～部 a「もたらす」 b「したたかに」の意味として最も適するものを次の中からそれぞれ選び、記号で答えなさい。

a 「もたらす」		b 「したたかに」	
ア	秘めている	ア	ひとりぼっちで
イ	引き起こす	イ	ゆっくりと
ウ	変化する	ウ	ひきょうに
エ	感じる	エ	しっかりと

問六 本文の内容として正しいものには○を、間違っているものには×を答えなさい。

- (1) 五月上旬に市場に出回るお茶には、カテキンやタンニンが多く含まれており、苦みや渋みが強い。
- (2) 水の中に糖分やビタミン、アミノ酸などが多く含まれることによって、水は凍りにくくなる。
- (3) テアニンが多く含まれている新茶は、二番茶三番茶と呼ばれるお茶よりも高品質なお茶といえる。
- (4) お茶の葉は、抗酸化物質を体内にたくわえることによって、冬の厳しい寒さから身を守っている。

三 次の①～⑥に漢字を一字ずつ入れると、線でつながった部分がそれぞれ漢字二字の言葉となります。①から⑥にあてはまる漢字をそれぞれ書きなさい。



四 次の……部のカタカナを漢字に直しなさい。送りがなが必要な場合は送りがなも書きなさい。

- 1 体重ソクテイをする。
- 2 外国とのホウエキ。
- 3 うわさがカクサンする。
- 4 予防チュウシヤをする。
- 5 早朝に目がサメル。
- 6 正しい方向へミチビク。

四	三	問六	問五	問四	問三	問二	問一	問八	問七	問三	問一
	①	(1)	a							問四	A
	②	(2)	b							問五	B
	③	(3)					息災				C
	④	(4)									D
	⑤								から。	問六	
	⑥										問二

*